

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

- Q1. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 解説：「行き」は四段「行く」の連用形。連用形+「ね」、文末で命令の意 → 完了「ぬ」 命令形。「早く行ってしまえ」の意。
- Q2. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：「知ら」は四段「知る」の未然形。未然形+「ね」+「ば」 → 打消已然形。「ば」は已然形接続で「～なので」の意。「知らないなので、答えない」の訳。
- Q3. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：「出で」は下二段「出づ」の未然形（連用形と同形）。直後「ば」で已然形と確定。前を見ると「出で」は未然形にも連用形にもなり得るが、文意「月が出ないので暗い」から打消が自然。
- Q4. 答え：ナ変動詞「往ぬ」 命令形「往ね」 解説：「往ぬ」（ナ行変格活用、意味は「立ち去る・行く」）の命令形「往ね」。「疾く」は副詞「速く」の意。「早く立ち去れ」の命令。
- Q5. 答え：完了の助動詞「ぬ」 已然形「ね」 解説：「来（き）」はカ変「来」の連用形。連用形+「ね」+「ば」 → 完了已然形。「ば」は順接の「～たところ／～したので」。「（待ち人が）来たので、皆喜ぶ」の意。※ 連用形「き」と未然形「こ」の見分けは活用表で。「き」なら完了。
- Q6. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」連用形「ね」 解説：直後「にけり」は連用形接続の助動詞「ぬ」連用形「に」+過去「けり」。「ね」自体が下二段「寝（ぬ）」の連用形。「静かに眠ってしまった」の意。
- Q7. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：「言は」は四段「言ふ」の未然形。「言わないので、知らない」。
- Q8. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 解説：「帰り」は四段「帰る」の連用形。文末で命令。「早く帰ってしまえ」。
- Q9. 答え：ナ変動詞「死ぬ」 命令形「死ね」 解説：「死ぬ」（ナ行変格活用）の命令形は「死ね」。「死ねと言う」の意。古文では命令形が会話に登場する例がある。
- Q10. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：「思は」は四段「思ふ」の未然形。「ど」は已然形接続の逆接「～けれども」。「思っていないけれども、口に出す」。
- Q11. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：カ変「来」未然形「こ」+打消「ず」已然形「ね」+接続助詞「ば」（順接確定＝～ので）。「春が来ないので、花が咲かない」。文意が自然に通るのは打消側。
- Q12. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：「行か」は四段「行く」の未然形。「行かないので、ここにいる」。
- Q13. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 解説：「置き」は四段「置く」の連用形。文末・命令。「露が降りてしまえ」（願望的命令）。
- Q14. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」未然形「ね」 解説：下二段「寝（ぬ）」未然形「ね」+接続助詞「ば」（順接仮定＝もし～ならば）。「私が眠らないならば、夢を見ない」。下二段の活用：ね・ね・ぬ・ぬる・ぬれ・ねよ。未然形・連用形は同形「ね」。已然形は「ぬれ」（已然形+ばなら「寝ぬれば」になる）。
- Q15. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：「待たれ」は四段「待つ」未然形+自発の助動詞「る」未然形「れ」。さらにその下に未然形接続の「ず」已然形「ね」。「自然に待たれないので、来るだろう」。
- Q16. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 解説：「仕うまつり」は四段「仕うまつる」の連用形。命令形「ね」で「お供してしまえ／お供せよ」の意。
- Q17. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 解説：下二段「隠る」未然形「隠れ」+打消「ず」已然形「ね」+接続助詞「ば」（順接確定）。「月が隠れないので、なお明るい」。下二段の未然形と連用形は同形「隠れ」だが、文意が自然に通るのは打消。

Q18. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「言は」は四段未然形。「ども」は已然形接続の逆接。「口では物を言わないけれども、目で物を言う」。

Q19. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」連用形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段連用形＋完了「ぬ」連用形「に」＋過去「けり」。「眠ってしまった」の意。「寝ね」の下が「に」（完了「ぬ」の連用形）なので「ね」は連用形と確定。

Q20. 答え：完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「知り」は四段「知る」連用形。文末・命令で「知ってしまえ／知れ」の意。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 答え：完了の助動詞「ぬ」已然形「ね」 **解説：**「降り」は四段「降る」連用形。連用形＋「ね」＋「ば」＝完了已然。「雨が降ってしまったので、行かない」。

Q22. 答え：完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「来（き）」カ変連用形。文末助詞「かし」（念を押す）の前で命令形。「来てしまえよ」。

Q23. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形＋打消已然形＋逆接「ど」。「知らないけれども、答える」。

Q24. 答え：ナ変動詞「死ぬ」命令形「死ね」 **解説：**「死ね」一語で命令形。下に終助詞「よ」が付いて命令を強める。

Q25. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」未然形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段未然形。「ばこそ」は假定・原因（強調）「～ないからこそ」。「ぐっすり眠らないからこそ、頭が痛い」。

Q26. 答え：ナ変動詞「往ぬ」命令形「往ね」 **解説：**「往ぬ」（ナ変、立ち去る）の命令形。「急いで立ち去れ」。

Q27. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「思は」未然形＋打消已然形「ね」＋「ばこそ」（強調確定）。「思わないからこそ、口に出さないのだ」。文末「ね」も同じく打消已然（係助詞「こそ」の結び）。

Q28. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**カ変「来」未然形「こ」＋打消「ず」已然形「ね」＋接続助詞「ば」（順接確定）。「人が来ないので、独りである」。

Q29. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**下二段「答ふ」未然形「答へ」＋打消「ず」已然形「ね」＋接続助詞「ば」（順接確定）。「尋ねたけれど答えないので、ひどく怒った」。

Q30. 答え：ナ変動詞「死ぬ」命令形「死ね」 **解説：**「死ね」＋念押しの終助詞「かし」。古文の罵り表現。

Q31. 答え：完了の助動詞「ぬ」未然形「な」（「ね」ではない引っかけ） **解説：**四段「帰る」連用形「帰り」＋完了「ぬ」未然形「な」＋終助詞「ばや」（自己の願望「～したい」）。「私は帰ってしまいたい、と思う」。完了「ぬ」の活用：な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね。「な」と「ね」を取り違えやすい引っかけ。※ 願望なら「帰りなばや」と未然形「な」を使うのが古文の正格。

Q32. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」未然形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段未然形＋「ばこそ」（強調）。文末「ね」は打消「ず」已然形（係助詞「こそ」の結び）。「寝ないからこそ、夢を見ないのだ」。

Q33. 答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**四段「あらはす」未然形「あらはさ」＋打消「ず」連体形「ぬ」＋体言「こと」。「表に出さないこと／露見しないこと」。体言の前なので連体形「ぬ」（已然形「ね」と混同しない）。

Q34. 答え：完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「立ち」は四段「立つ」連用形。命令で「早く立ってしまえ／立ち去ってしまえ」。

Q35. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「言は」未然形＋打消已然形「ね」＋係助詞「こそ」。下の結び「奥ゆかしけれ」は形容詞「奥ゆかし」已然形＝係り結び。「物を言わないことこそ、奥ゆかしい」。

Q36. 答え：完了の助動詞「ぬ」已然形「ね」 **解説：**「来（き）」カ変連用形＋完了已然形＋逆接「ど」。「夏が来てしまったわけではないけれども、暑い」。

- Q37. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形+已然形「ね」。「な」は詠嘆・断定の終助詞。「知らないのだなあ」。
- Q38. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「行か」未然形+打消已然形+「ばこそ」（強調確定）。「行かないからこそ、（事が）やむ」。
- Q39. 答え：**完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「置き」連用形+命令形+念押し「かし」。「露が降りてくれよ」。
- Q40. 答え：**下二段動詞「寝（ぬ）」連用形「ね」 **解説：**直後「たり」は連用形接続の存続・完了。「ね」は下二段「寝」連用形。「眠っていた」の意。
- Q41. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「食は」は四段「食ふ」未然形。「食べないので、痩せる」。
- Q42. 答え：**ナ変動詞「死ぬ」已然形「ぬれ」 **解説：**ナ変「死ぬ」已然形「死ぬれ」+接続助詞「ども」（逆接確定＝～けれども）。「死ぬけれども蘇る」。ナ変活用：な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね。已然形は「ぬれ」で「ね」（命令形）と混同しないこと。
- Q43. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「帰ら」は四段「帰る」未然形+打消已然形+「ば」（原因）。「帰らないので、と尋ねる」。
- Q44. 答え：**完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「来（き）」カ変連用形+命令形「ね」。「急いで来てしまえ」。
- Q45. 答え：**打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**四段「言ふ」未然形「言は」+打消「ず」連体形「ぬ」+格助詞「に」（準体的用法）+係助詞「しも」+自発「らる」終止形。「言わないからといって、おのずと知られる」。準体用法の前なので連体形。
- Q46. 答え：**下二段動詞「寝（ぬ）」未然形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段未然形+「ば」（仮定/已然どちらでも）。「眠らなければ、目覚めない」または「眠らないので、目覚めない」。
- Q47. 答え：**完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「仕うまつり」連用形+命令形+念押し「かし」。「お仕えしてしまえよ」。
- Q48. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形+打消已然形+接続助詞「ば」+係助詞「や」（疑問）。「知らないからか」「知らないのです？」。
- Q49. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「行か」未然形+打消已然形+「ば」（原因）。「行かないので、とどまる」。
- Q50. 答え：**完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「立ち」連用形+命令形+念押し「かし」。「急いで立ち去ってしまえよ」。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「吹か」未然形+打消已然形+「ば」（原因）。「風が吹かないので、波が立たない」。
- Q52. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「隠れ」を下二段「隠る」未然形と取れば打消。「月が隠れないので、まだ明けない」。
- Q53. 答え：**完了の助動詞「ぬ」已然形「ね」 **解説：**「来（き）」連用形+完了已然形+「ば」（原因）。「春が来てしまったので、花が咲く」。
- Q54. 答え：**完了の助動詞「ぬ」已然形「ね」 **解説：**「降り」連用形+完了已然形+「ば」。「雪が降ってしまったので、白い」。
- Q55. 答え：**打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「言は」未然形+打消已然形+逆接「ど」。「私が思うことを口に出さないけれども、（相手に）知られる」。

Q56. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 **解説：**引用「と」の前で命令形「ね」＋念押し「かし」。「帰ってしまえよ、と思う」。

Q57. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「あらは」は下二段「あらはる（顕る）」の未然形「あらはれ」の語幹的扱い…ではなく、「あらは」は「あらはなり（ナリ活用形容動詞）」の語幹＋助動詞「ず」と取るのが自然。「あらはならず（明らかでない）」の意で已然形「ね」。「(事実が) あらわでないので、人が知らない」。

Q58. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形＋打消已然形＋「ば」＋係助詞「や」（疑問）。「(彼の) 心を知らないからか、と尋ねる」。

Q59. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 **解説：**「起き」は上二段「起く」連用形＋命令形「ね」。「早く起きてしまえ」。

Q60. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」未然形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段未然形＋「ば」（仮定）＋「よかりしものを」（～のに）。「眠らなければよかったのに」の反実仮想的表現。

Q61. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「言は」未然形＋打消已然形＋係助詞「こそ」。下の「ありけれ」（う変「あり」連用形＋過去「けり」已然形）が結び。「物を言わないことであったのだ」。

Q62. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「待た」未然形＋打消已然形＋逆接「ども」。「月が出るのを待たないけれども、(月は) 出てしまった」。

Q63. 答え：完了の助動詞「ぬ」 已然形「ね」 **解説：**「来（き）」連用形＋完了已然形＋「ば」（原因）。「来てしまったので、待つ（必要がない）」or 文意によって「来ないので、待つ」と打消解釈もあり得る。「来（き）」と読めるなら完了。ポイント：「来」の活用形（未然「こ」・連用「き」・終止「く」・連体「くる」・已然「くれ」・命令「こ」）を覚えること。

Q64. 答え：完了の助動詞「ぬ」 已然形「ね」 **解説：**「止み」四段連用形＋完了已然形＋「ば」（原因）。「雨が止んだので、出る」。

Q65. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「思ひ寄ら」は四段「思ひ寄る」未然形＋打消已然形＋「ば」。「思いつかないので、答えられない」。

Q66. 答え：ナ変動詞「往ぬ」 命令形「往ね」 **解説：**「いざ」は誘う・促す副詞「さあ」。「さあ、行け／立ち去れ」。

Q67. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「待たれ」（四段未然＋自発「る」連用）＋打消已然＋「ば」（原因）。「自然に待たれないので、自分から来る」。

Q68. 答え：完了の助動詞「ぬ」 已然形「ね」 **解説：**「置き」連用形＋完了已然＋「ばこそ」（強調確定）。「露が降りてしまったからこそ、葉が青い」（皮肉や強調）。

Q69. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 **解説：**「知り」連用形＋命令形＋「かし」（念押し）。「知ってしまえよ」。

Q70. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「慰め」は下二段「慰む」未然形＋打消已然＋「ば」（原因）。「心が慰められないので、悲しさが消えない」。

Q71. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」未然形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段未然形＋「ばこそ」（強調）。下の「つれ」（完了「つ」已然形）は係助詞「こそ」の結び。「寝なかったからこそ、月を見たのだ」。

Q72. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「食は」未然形＋打消已然＋逆接「ど」。「食べないけれども、太っている」。

Q73. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 **解説：**「帰り」連用形＋命令形＋「かし」。引用「と」の前。「早く帰ってしまえよ、と母が言う」。

Q74. 答え：下二段動詞「寝（ぬ）」連用形「ね」 **解説：**「寝（ぬ）」下二段連用形＋完了「ぬ」連体形「ぬる」＋体言「人」。「寝てしまった人」。

Q75. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「思は」未然形+打消已然+「ば」(原因)。「思わないので、口に出さない」。

Q76. 答え：ナ変動詞「死ぬ」命令形「死ね」 **解説：**「死ね」命令形+「と」(引用)+「のみ」(限定)。「『死ね』とばかり言う」。

Q77. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「あらは」(ナリ活用語幹)+打消已然+逆接「ど」。「あらわでないけれども、知られる」。

Q78. 答え：ナ変動詞「往ぬ」命令形「往ね」 **解説：**「往ね」命令形+「かし」(念押し)。「急いで立ち去れよ」。

Q79. 答え：完了の助動詞「ぬ」已然形「ね」 **解説：**「降り」連用形+完了已然+「ば」(原因)。「雨が降ったので、川があふれる」。

Q80. 答え：下二段動詞「寝(ぬ)」未然形「ね」 **解説：**「寝(ね)」下二段未然形+「ばや」(願望、未然形接続)。「眠りたい、と思うけれども、眠れない」。「ばや」が未然形接続であることに注意。

【第4部】入試レベル (Q81~Q100)

Q81. 答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**四段「そしる」未然形「そしら」+打消「ず」連体形「ぬ」+体言「従者」。「主人を悪く言わない従者」。枕草子「ありがたきもの」の段より。体言の前なので連体形。

Q82. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」(または完了「ぬ」已然形) **解説：**「来」を未然形「こ」と読めば打消、連用形「き」と読めば完了。文意「来ないので、なお待つ」が自然なら打消、「来てしまったので、なお待つ」が成り立つなら完了。文脈で判断。 **ポイント：**「来」の音だけでは未然「こ」か連用「き」か判別できない場合、文意で決める。

Q83. 答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**四段「知る」未然形「知ら」+打消「ず」連体形「ぬ」(準体的用法)+係助詞「も」。徒然草第137段の有名な一節。「家にこもって春の行く先を知らないでいることも、やはりしみじみと情趣深い」。準体用法の前なので連体形。

Q84. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「給は」は四段「給ふ」未然形(尊敬補助動詞)+打消已然+「ば」(原因)。「そのまま(事情を)お知らせなさらないので、船人が皆涙にむせぶ」。

Q85. 答え：完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「帰り」連用形+命令形+「かし」(念押し)。「早く帰ってしまえよ」とお命じになる。宮中の人物が使いの者に命じる場面。

Q86. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形+打消已然+「ばこそ」(強調確定)。「その(歌に込められた)心を知らないからこそ、ただ風雅とばかり思っているのだろう」。

Q87. 答え：ナ変動詞「往ぬ」命令形「往ね」 **解説：**引用「と」の前で命令形「往ね」。「夜中にひそかに立ち去れ、とお命じになったので、御簾の中からこっそり出てしまった」。

Q88. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「知られ」(四段未然「知ら」+受身「る」連用)+打消已然+「ばこそ」。「人に知られないからこそ、なお深く悩むのだ」。

Q89. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形+打消已然+「ば」(原因)。「私もまたこのような病にかかるであろうことを知らないので、(病気を)他人事とばかり思っているのだ」。

Q90. 答え：下二段動詞「寝(ぬ)」未然形「ね」 **解説：**「寝(ね)」下二段未然形+「ばこそ」(強調確定)。下の「澄み渡れ」は四段已然形=係助詞「こそ」の結び。「眠らないからこそ、心が澄み渡るのだ」。

Q91. 答え：完了の助動詞「ぬ」命令形「ね」 **解説：**「仕うまつり」連用形+命令形「ね」。「お供してしまえ／お供せよ」とお命じになる。

Q92. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 **解説：**「照らされ」(四段「照らす」未然+受身「る」連用)+打消已然+「ば」(原因)。「くまない月の光に照らされないので、人の心の奥も見えない」。

Q93. 答え：完了の助動詞「ぬ」 命令形「ね」 **解説：**「立ち」連用形＋命令形＋引用「と」。「早く立ち去ってしまえ、と道行く人をせかしなさる」。

Q94. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**ラ変「あり」未然形「あら」＋打消「ず」 已然形「ね」＋接続助詞「ば」（順接確定条件）。「(心ある人で) ないので」。「心ある人でなければ、かえって悲しみを深く感じない」の意。

Q95. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「あら」（ラ変未然）＋打消已然＋「ば」（原因）。「並々ならぬ宿縁の人ではないので、このような目にも遭わないのだ」。

Q96. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「あら」未然＋打消已然＋「ばこそ」（強調確定）。下の「立てね」（下二段「立つ」未然形「立て」＋打消「ず」 已然形「ね」）が係助詞「こそ」の結び（已然形）。「時節ではないからこそ、声を立てないのだ」。

Q97. 答え：完了の助動詞「ぬ」 已然形「ね」 **解説：**「絶え」下二段「絶ゆ」連用形＋完了已然＋「ば」（原因）。「笛の音が絶えてしまったので、なお夜が更けない（と感じる）」。※ 「絶え」を未然形と取れば打消も可能だが、ここでは完了が自然な文意。

Q98. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「見え」下二段「見ゆ」未然形（連用形と同形）＋打消已然「ね」＋係助詞「こそ」。下の「かくるる」（下二段「隠る」連体形）は本来「こそ」の結びは已然形になるべきだが、ここでは係り結びの「ね」がすでに「こそ」の結び。「色は見えないけれども、香りはどうして隠れるだろうか、いや隠れない」の意。古今集の有名な歌。

Q99. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**ラ変「あり」未然形「あら」＋打消「ず」 已然形「ね」＋接続助詞「ば」＋係助詞「こそ」＋ラ変「あり」 已然形「あれ」（こそ結び・直後の「たれ」は完了「たり」 已然形）。徒然草第十一段の趣旨を踏まえた派生問題。「住む人がいないからこそ、こんなにも荒れているのだ」。係り結び「こそ～ 已然形」を含む高難度問題。

Q100. 答え：打消の助動詞「ず」 已然形「ね」 **解説：**「知ら」未然形＋打消已然＋「ば」（原因）。「その道（専門領域）を知らないので、聞きながら、本当だと思い込んでしまうのも、おもしろい」。徒然草第七十三段に類する一節の改変。